

森実式ドットカード検査



目的

ランドルト環視力検査が不可能な乳幼児の
近距離視力(最小視認閾)の測定

準備物 森実式ドットカード(先の丸いペンシル状の棒)

被検者と対座し、**森実式カード**の目の大きなカードを用いて目のある時は「有る」、ない時は「無い」と答えさせたり、**先の丸いペンシル状の棒**又は指でウサギの目を押さえさせる練習をする



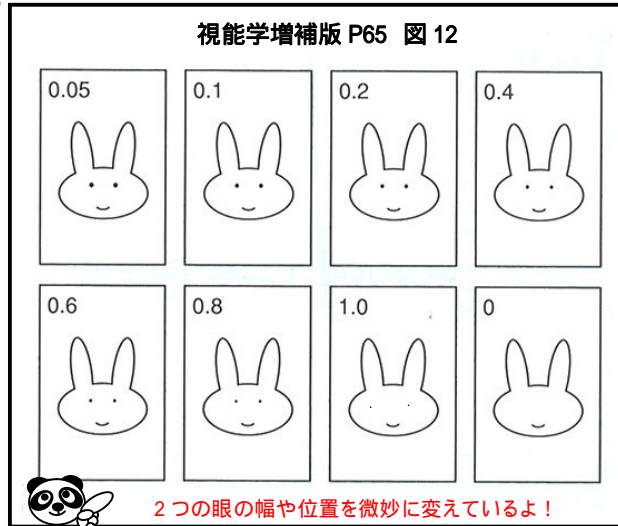
2歳前後の幼児から出来るよ!
老人の近距離スクリーニングや老眼鏡の要否判定にも有効。



神経眼科外来 メディカルビュー社 P64

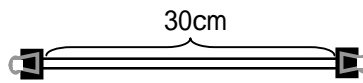


指で触るとカードが汚れて好ましくないが…
棒を持つことも難しい。



被検者の片眼を遮閉し、隣の視力数値を隠して持って**カード**1枚1枚を被検者の眼前**30cm**で提示する

検査距離を一定に保つ為、被検者の衣服とカードを30cmの長さのテープ付きクリップではさむと良い。



カードを示して「お目々ある?」と聞き、確認できたら次第に小さい目に移り、時々**0カード**を提示したりして再度確認する



視認できているかの確認が出来ればどんな方法でもよい。
ほめたりして飽きさせず楽しくやらせるように工夫すること。

例)

次第に反応が**微妙**になってきた!



最小視認閾に近づいてきたということ!
この検査は一般の視力検査法の最小分離閾や最小可読閾の測定ではないが、相関関係が成立する。

先ほどと同様に「お目々がどこにある?」と聞き、指か**先の丸いペンシル状の棒**で目をささせたり、**0カード**を提示したり**0カード**と**その他のカード**を並べ「お目目どっちにある?」など聞いて視認できているかの確認をする



ウサギの目が小さくなると、幼児の場合どこを指さしているか判らなくなる。その時は臨機応変に。

少し大きい眼にして2~3回繰り返す

例)

0.3 で確実にささなくなったり、
適当にさすようになった!

答えることができた最小のカード値が視力値

結果・記載例)

森実ドットカード
RV = 0.2
LV = 0.5

参考



ウサギだけでなくクマもあるよ!
標準的視力値は、
2~3歳 0.6以上
4~5歳 0.8以上
6歳以上 1.0以上

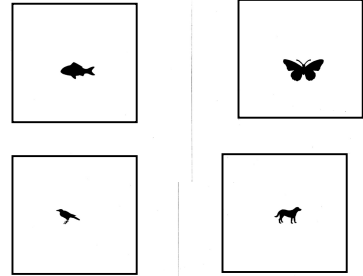
絵カード視力検査

目的 ランドルト環視力測定が不可能な乳幼児の(最小可読閾)の測定

視能矯正学 P73 に記載されている

準備物 絵カード視標・絵カードの動物の模型

絵カード視標



被検者の眼前で絵視標を見せ、答え方の練習をさせるが、どうしてもうまく言えなかったら、**模型**と**絵カード**を一致させる練習をする

目的は何かを考え、片眼にするか両眼にするかを決定する



片眼視力を知りたいが、遮閉板やアイパッチをどうしても嫌がる場合、母親の膝にのせ母親の手で被検者の片眼をハンカチで押さえるなど色々と工夫すること。
検査距離も5mがベストだが、集中力がない場合、2.5mで測定し、見えた最高視力を半分に換算する場合もある。

絵カードの大きいものから順に見せ、**模型**又は言葉で答えさせる

半数以下となる視力まで測定する

過半数見える視力が得られる最小のその視標が視力値

結果・記載例)

絵カード
R.V.(v.d.) = 0.6
L.V.(v.s.) = 0.4



必ず何で測定した視力かを記入のこと。だってこれは最小可読閾だからね。